

This Page Is Inserted by IFW Operations
and is not a part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

**As rescanning documents *will not* correct images,
please do not report the images to the
Image Problem Mailbox.**

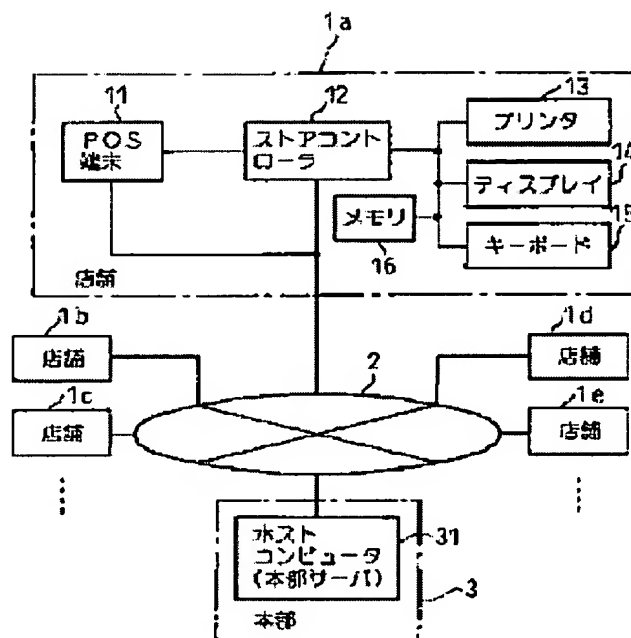
MERCHANDISE MANAGEMENT METHOD

Patent number: JP11296752
Publication date: 1999-10-29
Inventor: NAKAMURA MASAKI
Applicant: YOKOHAMA RUBBER CO LTD:THE
Classification:
- International: G07G1/12
- european:
Application number: JP19980096216 19980408
Priority number(s):

Abstract of JP11296752

PROBLEM TO BE SOLVED: To manage the salability and the stock of merchandises in respective stores, adding them up in a center and to analyze salability information in a nationwide scale or by individual areas by writing information on a specified merchandise into the prescribed column of a merchandise registration table and setting it to be the merchandise master of the specified merchandise.

SOLUTION: It is judged whether attribute information related to a specified merchandise to be managed exists in previously inputted attribute information or not. When attribute information related to the managed specified merchandise exists in merchandise code attribute information, attribute information related to the specified merchandise is selected from a merchandise code attribute displayed on a display 14. The attribute information is written in the pertinent column of a merchandise registration table. Merchandise code attribute information related to the specified merchandise is inputted from a keyboard and it is written into the pertinent column of the merchandise registration table. Numeric information related to the size of the specified merchandise is also written into the pertinent column of the merchandise registration table. A merchandise master equivalent to the merchandise ledger of the specified merchandise is completed.



Data supplied from the esp@cenet database - Worldwide

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平11-296752

(43) 公開日 平成11年(1999)10月29日

(51) Int.Cl.⁸
G 0 7 G 1/12
// G 0 6 F 17/60

識別記号
3 4 1

F I
G 0 7 G 1/12 3 4 1 B
G 0 6 F 15/21 3 1 0 Z

審査請求 未請求 請求項の数11 O L (全 11 頁)

(21) 出願番号 特願平10-96216

(22) 出願日 平成10年(1998)4月8日

(71) 出願人 000006714

横浜ゴム株式会社

東京都港区新橋5丁目36番11号

(72) 発明者 中村 征希

東京都港区新橋5丁目36番11号 横浜ゴム株式会社内

(74) 代理人 弁理士 石田 敬 (外4名)

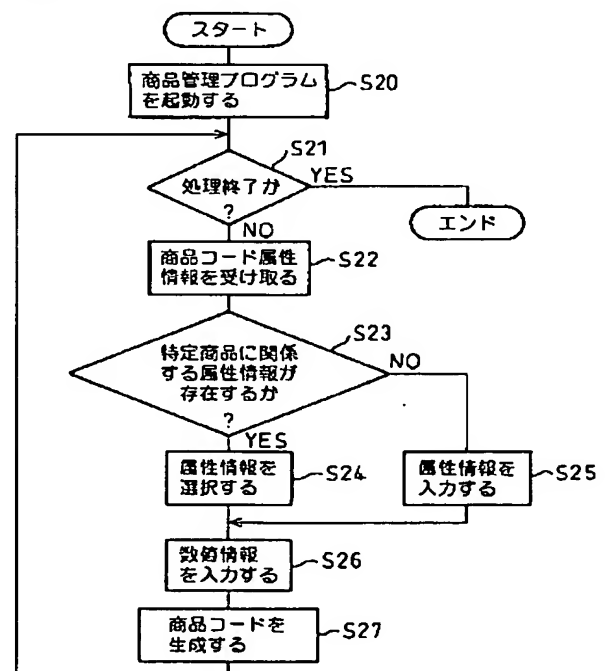
(54) 【発明の名称】 商品管理方法

(57) 【要約】

【課題】 バーコード等が付与されていない商品の売れ筋や在庫管理を各店舗で行うと共に本部にて集計して全国的な規模で売れ筋情報を分析可能にする。

【解決手段】 複数の店舗に共通のフォーマットで商品マスタを作成する商品管理方法であって、店舗1 a …の各々において、管理すべき特定商品のための、共通のフォーマットを持つコラムを有する商品登録テーブルを用意し、特定商品に関係する情報を商品登録テーブルの所定コラムに書き込み、特定商品について商品登録テーブルの所定コラムに情報が書き込まれたものを特定商品の商品マスタとする。

図 2



【特許請求の範囲】

【請求項 1】 複数の店舗に共通のフォーマットで商品マスタを作成する商品管理方法であって、前記店舗の各々において、

管理すべき特定商品のための、前記共通のフォーマットを持つコラムを有する商品登録テーブルを用意し、前記特定商品に関する情報を前記商品登録テーブルの所定コラムに書き込み、

前記特定商品について前記商品登録テーブルの前記所定コラムに前記情報が書き込まれたものを前記特定商品の商品マスタとする商品管理方法。

【請求項 2】 複数の店舗に共通のフォーマットで商品マスタを作成する商品管理方法であって、前記店舗の各々において、

管理すべき特定商品のための前記共通フォーマットを持つコラムを有する商品登録テーブルを用意し、

前記特定商品に関する属性情報を当該店舗が保持している商品属性情報の中から検索し、

前記検索の結果、前記特定商品に関する属性情報が前記商品属性情報に存在している場合は、前記商品属性情報から選択された属性情報を前記商品登録テーブルの第一のコラムに書き込み、前記検索の結果、管理すべき特定商品に関する属性情報が前記商品属性情報に存在していない場合は、前記特定商品に関する当該店舗にて付与した商品属性情報を前記商品登録テーブルの前記第一の所定コラムに書き込み、

前記商品のサイズに関する当該店舗にて付与した数値情報を前記商品登録テーブルの第二の所定コラムに書き込み、

前記特定商品について前記商品登録テーブルの前記第一および第二所定コラムに前記情報が書き込まれたものを前記特定商品の商品マスタとする商品管理方法。

【請求項 3】 商品に関するデータを収集分析する本部に接続された複数の店舗に共通のフォーマットで商品マスタを作成するための商品管理プログラムを、前記複数の店舗の各々に設けられたストアコントローラに搭載して使用する商品管理方法であって、前記ストアコントローラの各々は、

前記本部から、商品毎の商品の属性を表す商品属性情報を受け取って前記ストアコントローラに接続されたメモリに格納し、

前記商品管理プログラムの起動に応じて前記商品マスタの前記共通フォーマットを持つコラムを有する商品登録テーブルをディスプレイに表示させ、

管理すべき特定商品に関する属性情報を検索要求に応じて前記商品属性情報の中から検索し、

前記検索の結果、管理すべき特定商品に関する属性情報が前記商品属性情報に存在している場合は、前記商品属性情報から選択された属性情報を前記商品登録テーブルの第一の所定コラムに書き込み、前記検索の結果、管

理すべき特定商品に関する属性情報が前記商品属性情報に存在していない場合は、キーボードから入力された前記特定商品に関する商品属性情報を前記商品登録テーブルの第一の所定コラムに書き込み、

キーボードから入力された前記商品のサイズに関する数値情報を前記商品マスタの第二の所定コラムに書き込み、

前記特定商品について前記商品登録テーブルの前記第一および第二の所定コラムに前記情報が書き込まれたものを前記特定商品の商品マスタとする商品管理方法。

【請求項 4】 前記商品はバーコード又は JAN コードが付与されていない商品を含むことを特徴とする請求項 3 に記載の商品管理方法。

【請求項 5】 前記複数の店舗に共通のフォーマットで前記特定商品を識別するための商品コードを前記商品マスタに基づいて生成することを特徴とする請求項 3 又は 4 に記載の商品管理方法。

【請求項 6】 前記特定商品はアルミホイールである、請求項 3 から 5 のいずれか一項に記載の商品管理方法。

【請求項 7】 前記商品属性情報は、少なくとも、商品の種類を表すブランド名と、商品のメーカー名と、商品の色とを含む、請求項 3 から 6 のいずれか一項に記載の商品管理方法。

【請求項 8】 前記数値情報は、アルミホイールのリム径、リム幅、ホール数、ボルト穴ピッチ円直径、及びホイール断面の縦方向の中心線とホイール内側の車両取付け面との距離を表すオフセットを含む、請求項 6 又は 7 に記載の商品管理方法。

【請求項 9】 前記特定商品はカー用品である、請求項 3 に記載の商品管理方法。

【請求項 10】 前記商品マスタの内容を商品に関するデータを収集分析する本部に通知するステップを更に備える、請求項 3 から 9 のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 11】 商品に関するデータを収集分析する本部に接続された複数の店舗に共通のフォーマットで商品マスタを作成するための商品管理プログラムを格納した記憶媒体であって、前記商品管理プログラムは前記複数の店舗の各々に設けられたストアコントローラに搭載して使用するものであり、前記商品管理プログラムは、前記本部から、商品毎の商品の属性を表す商品属性情報を受け取って前記ストアコントローラに接続されたメモリに格納し、

前記商品管理プログラムの起動に応じて前記商品マスタの前記共通のフォーマットを持つコラムを有する商品登録テーブルをディスプレイに表示させ、

管理すべき特定商品に関する属性情報を検索要求に応じて前記商品属性情報の中から検索し、

前記検索の結果、管理すべき特定商品に関する属性情報が前記商品属性情報に存在している場合は、前記商品属性情報から選択された属性情報を前記商品登録テーブ

10

20

30

40

50

ルの第一の所定コラムに書き込み、前記検索の結果、管理すべき特定商品に関係する属性情報が前記商品属性情報に存在していない場合は、キーボードから入力された前記特定商品に関係する商品属性情報を前記商品登録テーブルの前記第一の所定コラムに書き込み、キーボードから入力された前記商品のサイズに関する数値情報を前記商品登録テーブルの第二の所定コラムに書き込み、前記特定商品について前記商品登録テーブルの前記第一および第二の所定コラムに前記情報が書き込まれたものを前記特定商品の商品マスタとする、というステップを備える、商品管理方法を実施するためのプログラムを格納した記録媒体。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は商品管理及びその方法を実施するためのプログラムを格納した記録媒体に関し、特に各店舗にて全国統一のフォーマットの商品マスタを作成してその商品マスタにより各店舗にて商品を管理すると共に、その商品マスタを本部に送り、本部にて売れ筋や各店舗の在庫管理等の商品管理を行わせる方法及びその方法を実施するためのプログラムを格納した記録媒体に関する。

【0002】

【従来の技術】商品の売上げ管理による「売れ筋商品」の把握は商品毎の利益計算、在庫管理による「死に筋商品」の早期発見、適正在庫の管理、買掛及び仕入れの中でのチェックなど、商品を単品で管理すること（即ちその商品の名称毎に管理すること）は近代経営を行う上で非常に重要になっている。

【0003】このように商品を単品で管理する場合、従来は商品に付与された J A N コードやバーコードを店舗に配置された P O S (Point Of Sales) 端末により読み取り、P O S 端末から本部に通知して本部にて商品管理をしている。しかしながら、例えば、車両用のタイヤにセットされるアルミホイールのように、そのメーカーの数が非常に多く、且つ商品の種類（本明細書ではブランドと称する）が非常に多い商品には、商品を識別するための J A N コードやバーコードが付与されておらず、このような商品の管理は、P O S 端末ではできない。

【0004】従来は、上記のように本部で単品管理できないものや J A N コードやバーコードが付与されていない商品の仕入れ又は売上げがあると、各店舗にて独自に定義したコードを用いて、店舗に備え付けのキャッシュレジスタ、P O S 端末、パーソナルコンピュータ等で構成されるストアコントローラ等に商品名、メーカー名、売上げ代金、仕入れ代金等を入力して、本部に通知することなく各店舗で独自に管理していた。

【0005】

【発明が解決しようとする課題】上記のように、各店舗

で独自に定義したコードを用いて商品を管理する従来方法では、それぞれの店舗でのみの商品の売れ筋の分析や在庫管理はできるが、バーコードや J A N コード等の全国統一の商品コード体系に基づいて商品を管理していないので、各店舗からのデータを本部で集計して全国的な規模であるいは地区別の売れ筋や在庫管理の分析ができないという問題がある。

【0006】さらに、各店舗でキャッシュレジスタや P O S 端末に入力したデータは、その店舗において分析するためには上記独自に定義されたコードを解釈できるプログラムが搭載されたストアコントローラにあらためて入力し直す必要があり、手間がかかるという問題がある。本発明の目的は、バーコードや J A N コードが付与されていない商品の売れ筋や在庫管理を各店舗で行うと共に本部にて集計して全国的な規模であるいは地区別の売れ筋情報や在庫情報を分析可能にすることにある。

【0007】本発明の他の目的は、バーコードや J A N コードが付与されていない商品に関するデータを各店舗にて P O S 端末に入力した後に、その商品の売れ筋や在庫管理を各店舗で又は本部で行うためにあらためてストアコントローラに入力する必要のない商品管理方法を提供することにある。

【0008】

【課題を解決するための手段】上記の目的を達成するために、本発明の一態様により、複数の店舗に共通のフォーマットで商品マスタを作成する商品管理方法であって、前記店舗の各々において、管理すべき特定商品のための、共通のフォーマットを持つコラムを有する商品登録テーブルを用意し、特定商品に関する情報を商品登録テーブルの所定コラムに書き込み、特定商品について商品登録テーブルの所定コラムに情報が書き込まれたものを特定商品の商品マスタとする商品管理方法が提供される。

【0009】本発明の第二の態様により、複数の店舗に共通のフォーマットで商品マスタを作成する商品管理方法であって、店舗の各々において、管理すべき特定商品のための共通フォーマットを持つコラムを有する商品登録テーブルを用意し、特定商品に関する属性情報を当該店舗が保持している商品属性情報の中から検索し、検索の結果、特定商品に関する属性情報が商品属性情報に存在している場合は、商品属性情報から選択された属性情報を商品登録テーブルの第一のコラムに書き込み、検索の結果、管理すべき特定商品に関する属性情報が商品属性情報に存在していない場合は、特定商品に関する当該店舗にて付与した商品属性情報を商品登録テーブルの第一の所定コラムに書き込み、商品のサイズに関する当該店舗にて付与した数値情報を商品登録テーブルの第二の所定コラムに書き込み、特定商品について商品登録テーブルの第一および第二の所定コラムに情報が書き込まれたものを特定商品の商品マスタとする商

品管理方法が提供される。

【0010】本発明の第三の態様により、商品に関するデータを収集分析する本部に接続された複数の店舗に共通のフォーマットで商品マスタを作成するための商品管理プログラムを、複数の店舗の各々に設けられたストアコントローラに搭載して使用する商品管理方法であって、ストアコントローラの各々は、本部から、商品毎の商品の属性を表す商品属性情報を受け取ってストアコントローラに接続されたメモリに格納し、商品管理プログラムの起動に応じて商品マスタの共通フォーマットを持つコラムを有する商品登録テーブルをディスプレイに表示させ、管理すべき特定商品に関する属性情報を検索要求に応じて商品属性情報の中から検索し、検索の結果、管理すべき特定商品に関する属性情報が商品属性情報に存在している場合は、商品属性情報から選択された属性情報を商品登録テーブルの第一の所定コラムに書き込み、検索の結果、管理すべき特定商品に関する属性情報が商品属性情報に存在していない場合は、キーボードから入力された特定商品に関する商品属性情報を商品登録テーブルの第一の所定コラムに書き込み、キーボードから入力された商品のサイズに関する数値情報を商品マスタの第二の所定コラムに書き込み、特定商品について商品登録テーブルの第一および第二の所定コラムに情報が書き込まれたものを特定商品の商品マスタとする、というステップを備える商品管理方法が提供される。

【0011】好ましくは、商品はバーコード又はJANコードが付与されていない商品を含む。好ましくは、商品マスタに基づいて複数の店舗に共通のフォーマットで特定商品を識別するための商品コードを生成する。特定商品の一例としては、アルミホイール又はカー用品がある。

【0012】商品属性情報としては、商品の種類を表すブランド名と、商品のメーカー名と、商品の色とがある。数値情報としては、アルミホイールのリム径、リム幅、ホール数、ボルト穴ピッチ円直径、及びホイール断面の縦方向の中心線とホイール内側の車両取付け面との距離を表すオフセットがある。

【0013】本発明の第四の態様により、上記商品管理方法を実施するためのプログラムを格納した記憶媒体が提供される。

【0014】

【発明の実施の形態】以下に、図面によって本発明の実施の形態による商品管理方法を説明する。図1は本発明の実施の形態による方法を実施するための商品管理システムの構成を示すブロック図である。同図において、1a、1b、1c、1d、1e、…は店舗である。各店舗は、POS端末11、ストアコントローラ12、プリンタ13、ディスプレイ14、キーボード15、およびメモリ16を備えている。各店舗内のストアコントローラ

1は通信回線2を介して本部3内のホストコンピュータ(本部サーバ)31に接続されている。ホストコンピュータ31は各店舗で収集された商品に関するデータを集計する。

【0015】ストアコントローラ12には、本部3内のホストコンピュータ31に接続された全店舗に共通のフォーマットで商品マスタを作成するための商品管理プログラムがインストールされている。図2は本発明の実施の形態による商品管理方法を説明するフローチャートである。この処理は、概略的には、店舗におけるストアコントローラ12にインストールされている商品管理プログラムを実行しながら、ディスプレイ上に表示された商品登録テーブルからの指示にしたがって適宜、キーボードにより商品の属性情報を選択又は入力し、且つ商品の数値情報を入力し、売上げデータ及び仕入れデータを入力して、商品マスタを作成し、その商品マスタの内容を本部3に通知することにより行われる。

【0016】図3は商品管理プログラムを実行する前のディスプレイ14上の画面の一例を示す図、図4は図3における「商品管理」をクリックしたときにディスプレイ14上に現れる商品管理メニューの一例を示す図である。図3及び図4を用いて図2のフローチャートを説明する。商品管理プログラムは例えば図3に示されるように「商品管理」という名称でサブメニューX内に組み込まれている。この「商品管理」というメニューをクリックすると、図4に示した商品管理メニューが表示される。商品管理メニューには、「アルミホイール登録」、「カー用品登録」、「その他商品登録」、「商品マスタ修正」、「商品マスタ削除」、「ブランド削除」、「メーカー削除」、「終了」等のメニューがある。ステップS20では例えば、この中の1つである「アルミホイール登録」を選択する。それにより、商品管理プログラムが起動される。ただし、ステップS20でディスプレイ14上の「終了」をクリックした場合はステップS21の判断により商品管理処理を終了し、クリックしていなければステップS22に進む。商品管理プログラムが起動されると、図9に示すような商品登録テーブルがディスプレイ14上に表示される。

【0017】ステップS22では、本部3内のホストコンピュータ31から商品コードの属性情報を受け取る。このステップS22における処理は、商品管理プログラムが起動されている間は、新規の商品コードの属性情報が生成される毎にリアルタイムに、又は一定時間ごとにバッチ処理にて本部3からストアコントローラ12にその属性情報が通知される。商品コードの属性情報としては、例えば、商品の型を表すブランドの名称、商品のメーカーの名称、商品の色等がある。なお、本明細書において、ある商品の「ブランド」とはその商品の品種の1つをいい、メーカー名と型番とその商品の特徴により一義的に定まる。

【0018】ステップS23で、これから管理しようとする特定商品に関する属性情報が既に入力された属性情報の中に存在するかを判定する。この判定により、管理すべき特定商品に関する属性情報が商品コード属性情報に存在する場合は、ステップS24にてディスプレイ14上に表示される商品コード属性情報から当該特定商品に関する属性情報を選択する。選択された属性情報は商品登録テーブルの該当するコラム内に書き込まれる。上記判定により、管理すべき特定商品に関する属性情報が商品コード属性情報に存在しない場合は、ステップS25にて当該特定商品に関する商品コード属性情報をキーボードから入力する。入力された属性情報も、商品登録テーブルの該当するコラム内に書き込まれる。次いでステップS26にて、その特定商品のサイズに関する数値情報を入力する。入力された数値情報も商品登録テーブルの該当コラム内に書き込まれる。こうして、この特定商品の商品台帳に相当する商品マスタが完成する。

【0019】次いでステップS27にて、商品マスタの内容に基づいてその商品を識別するための商品コードを自動生成する。この商品コードは例えば20桁の文字および英数字からなり、バーコード又はJANコードと同一の形式をしている。商品コードの一例は図6に示されている。商品コードが生成されると、商品の登録処理は終了するので、ステップS21にて終了ボタンを押して処理を終了する。

【0020】こうして生成された商品コードをPOS端末11に登録し、且つこの商品に上記商品コードに一致するインストアコードを添付しておく。ただし、このインストアコードは一搬に用いられている全国共通のバーコードとは異なる。店舗にてこの商品の売上げの際、又は仕入れの際にPOS端末11にてこの商品コード読み取り、その商品コードに対応して売上げデータ又は仕入れデータを入力すれば、その売上げデータ又は仕入れデータがストアコントローラ12に商品コードと共に送られ、商品マスタ内の該当コラム内に書き込まれる。勿論、ストアコントローラ12により商品コードをキーにして商品マスタを読み出し、その商品の売上げデータ及び仕入れデータをキーボード15から直接入力し、商品登録テーブル内の該当コラム内に書き込んでもよい。いずれの場合も、商品コードを用いることにより、ストアコントローラ12はその店舗内でのその商品の販売実績や在庫管理を、通常のバーコードやJANコードを付与されている商品と同様に管理できる。

【0021】さらに、商品マスタの内容はリアルタイムにあるいは夜間等の決まった時間にバッチ処理にて、本部3のホストコンピュータ31に通知される。この場合、商品マスタと共にその商品コードを店舗から本部に通知してもよいし、商品コードを店舗から本部に通知せずに、本部にて商品マスタから商品コードを自動生成し

てもよい。商品コードを店舗から本部に送らない場合でも、商品マスタには売上げデータ及び仕入れデータが入力されている。商品コードを店舗から本部に送る場合には、売上げデータ及び仕入れデータを商品コードに添付して送ってもよい。

【0022】本部3では、本部3に接続されたすべての店舗からの商品マスタ又は商品コードを受け取り、その商品コードに対応する商品毎に売上げデータや仕入れデータを集計して分析し、それにより売れ筋や在庫管理のためのデータを得る。店舗においても、商品毎に売れ筋や在庫管理のデータを得るために商品コードを用いることができる。また、ある店舗において新たな商品の登録があった場合に、本部はその商品マスタの内容を受けて他の全ての店舗にその商品マスタの内容を通知する。これにより、全ての店舗は同一の商品に対して全店舗で共通のフォーマットで商品マスタおよび商品コードを保持することができる。

【0023】図5は上記の処理により作成された商品マスタ内の必須の要素の一例を示す表図である。図示の商品マスタはアルミホイールの1つの商品の商品マスタである。図において、図2のステップS24で選択されるか又はステップS25で入力される商品の属性情報、及び本部からその店舗に対して予め付与されている属性情報としては、その店舗を識別するための「管理区分」、その商品のブランド名に対応する「ブランドコード」、「ブランド正式名」、「ブランドカナ名」、及び「型番」、製造元を示す「メーカコード」、商品の外観を示す「デザイン」、商品が適用される車の「車種」、及び商品の「色」がある。

【0024】「管理区分」の内容は店舗において選択したり入力したりするデータではなく、本部からその店舗に対して予め付与されているコードである。図示の場合は「管理区分」の内容は1000である。この管理区分のコードは、商品マスタの作成時にこの商品マスタに本部3から自動的に入力されてくる。「ブランド正式名」の内容は本部から送られたブランド名から選択するか、その店舗において入力する。ブランド名は、その店舗においてカナ入力で入力することもできる。カナ文字でブランド名が入力されるか、型番としてブランド名の例えば最初の3文字を入力すると、ブランド名のリストが表示され、そのリストから該当のブランド名を選択すれば、「ブランド正式名」のコラムに正式のブランド名が入力され、「ブランドコード」のコラムに対応するコードが入力される。図示の場合は、ブランドコードは54321、ブランド正式名はa b c d e f g、ブランド名カナはイロハニホヘト、型番はブランド正式名の頭3文字であるa b cである。本部からブランドコードが送られてきていない新規の登録の場合は、その店舗にて独自に作成したコードを入力する。このコードと他の店舗で異なる商品に付与したコードとが同一であっても問題は

ない。なぜなら、異なる店舗では管理区分が異なるので、本部では異なる商品として識別でき、本部においてあらためてその商品に対して新たなブランドコードを付与し、全店舗にそれを知らせて前のコードを削除するように指示すれば、新たな商品にたいしても全国共通のブランドコードが付与されることになるからである。

【0025】「メーカコード」には、メーカー一覧を表示させて、該当のメーカ名を選択し、そのメーカ名に対応する予め定められたコードが入力される。メーカー一覧は本部においてメーカコードと対応させて予め作成されており、本部3から各店舗に予め通知されている。該当するメーカ名がメーカー一覧に存在しない場合はその店舗において独自にコードを付与して入力する。図示の場合はメーカコードは*77である。

【0026】「デザイン」のコラムにはその商品の外観を決めるタイプが選択又は入力される。図示の場合は、「スポーク」が入力されている。デザインには、この他に「フィン」タイプ、「メッシュ」タイプ、「ディッシュ」タイプ等がある。このデザインのコラムは「商品コード」の作成には関係していないが、商品を検索する際のキーの1つになる。

【0027】「車種」のコラムには乗用車用か四輪駆動用か、といった車種を識別する符号が選択又は入力される。図示の場合はPCRが入力されており、これは乗用車であることを示している。この「車種」のコラムも「商品コード」の作成には関係していないが、商品を検索する際のキーの1つになる。「色」のコラムにはその商品の色が選択又は入力される。図においては、シルバーが選択又は入力されている。

【0028】図2のステップS24又はS25で入力される数値情報としては、商品がアルミホイールの場合、リム径、リム幅、ホール数、サイズ数、アルミホイールを車体に取り付けるための穴を通る円の直径であるボルト穴ピッチ円直径(P.C.D)及びオフセットがある。図においては、リム径が17、リム幅が9.0、ホール数が5、サイズ形式がH、P.C.Dが114.30、オフセット値が25となっている。

【0029】図6は図5に示した商品マスタからストアコントローラ12により自動生成された商品コードである。同図において、商品コードは、商品マスタ内の型番abcと、リム径17と、リム幅9.0と、ホール数5と、サイズ形式Hと、P.C.Dの114.30と、オフセット値の25と、色のシルバーに対応するコードと、メーカコードの*77とからなっている。商品コードは英数字で構成される。

【0030】図5における数値情報の数値の持つ意味を図7により説明する。図7はアルミホイールの断面図である。図示のように、リム径とはアルミホイールの直径のことであり、リム幅はアルミホイールの幅のことであり、ホール数は車体にアルミホイールを固定させるため

のボルトの穴の数のことであり、サイズ形式はボルト穴が様々な車種に対応しているマルチサイズMか、ボルト穴が1つの車種にのみ対応している一般サイズHかを示し、P.C.D(Pitch CircleDiameter)はアルミホイールを車体に取り付けるための穴を通る円の直径であるボルト穴ピッチの円直径であり、オフセットはアルミホイールのリム中心線とアルミホイールの内側の車両取り付け面との距離である。

【0031】図8は図4に示した「アルミホイール登録」というメニューを実行する場合の図2におけるステップS23～S27の具体例を説明するフローチャートである。図9はアルミホイール登録を実行中にディスプレイ14上に表示される商品登録テーブルの例を示す。まず、ステップS801にて「アルミホイール登録」というプログラムを起動する。これは図4に示されたメニューから「アルミホイール登録」を選択してクリックすることにより行われる。この起動によりディスプレイ14には図9に示すようなアルミホイール登録のための商品登録テーブルが表示される。この段階では図9の画面の「ブランド名」のコラムにカーソルが存在している。

【0032】次いでステップS802にて、ブランド一覧のキーを押すことによりブランド一覧を表示させる。そしてステップS803にて検索したいブランド名をキーボードから入力し、検索ボタンを押下することにより検索を開始する。すると図9の画面上の「商品検索」のコラムに、その入力文字を含むブランド名が、サイズ、型番、色、メーカ名と組みになって表示される。検索したい文字としては、必ずしもブランド名のすべての文字を入力する必要はなく、ブランド名に含まれる例えば2文字を入力するだけでよいようになっている。上記2文字に替えてそのブランド名の俗称や短縮名を入力してもよい。

【0033】次いでステップS804にて、表示されたブランド名の中に目的とするブランド名が存在するかを判定する。表示されたブランド名の中に目的とするブランド名が存在していれば、ステップS805にて、そのブランド名をダブルクリックすることによりそのブランド名が選択されてメーカ名と共に図9に示す画面上部の「ブランド名」及び「メーカ」のコラムに書き込まれる。

【0034】ステップS804の判定で、表示されたブランド名の中に目的とするブランド名が存在していなければ、ステップS806にて目的とするブランド名を入力し、ステップS807にてブランド情報の型番を入力し、ステップS808にてメーカを検索する。この場合もメーカ名は例えば2文字を入力することにより、その2文字を含むメーカ名が一覧表示され、その中から該当メーカ名をダブルクリックすることにより選択できる。

【0035】ステップS808の判定で該当メーカ名が存在しない場合には、ステップS810にてメーカ情報

を入力し、ステップ S 8 1 1 で新メーカー名を図 9 に示した商品登録テーブルに登録する。ステップ S 8 0 8 の判定で該当メーカー名が存在する場合は、ステップ S 8 0 9 にてそのメーカー名とステップ S 8 0 6 で入力されたブランド名との対で、図 9 の画面上部の「ブランド名」及び「メーカ」のコラムに新ブランドの登録を行う。

【0036】次に図 9 の画面上でカーソルは「品種」のコラムに移動し、ステップ S 8 1 2 にて、このアルミホイールを取り付ける車両の車種は乗用車か 4 WD かを選択する。これは、図 9 の画面中の「品種」のコラムにて目的とする車種をクリックすることにより行われる。次にカーソルは「サイズ」のコラムに移動して、ステップ S 8 1 3 で穴の形式が一般サイズ H かマルチサイズ M かを選択する。次いでカーソルは「インチ」のコラムに移動して、ステップ S 8 1 4 でリム径のインチの値を入力する。次いでカーソルは「リム幅」のコラムに移動して、ステップ S 8 1 5 でリム幅の値を入力する。次いでカーソルは「穴」のコラムに移動して、ステップ S 8 1 6 でホール数を入力する。次いでカーソルは「オフセット」のコラムに移動して、ステップ S 8 1 7 でオフセットの値を入力する。次にカーソルは「色」のコラムに移動して、ステップ S 8 1 8 でこのアルミホイールの色を選択する。色の選択は、色の候補がディスプレイ画面上に表示されその中から該当の色をクリックすることにより行われる。

【0037】なお、図 9 の画面の右上のコラムは商品マスタの作成年月日を示す。商品登録テーブルには更に、標準小売価格、店頭価格、原価、最終仕入れ原価が入力される。図 9 に示した商品登録テーブルの画面では、上記の各属性の他に、ディスクの仕様とその商品に J A N コードが付与されている場合はその J A N コードが入力される。

【0038】すべての入力終了すると、「入力確定」キーを押下する。すると、図 1 0 の画面の「確定中」のコラムに、これまでに入力されたブランド、サイズ、型番、色、メーカー名が表示されるとともに、アルミホイール登録確認の画面が表示される。図 1 0 において、「アルミホイール登録確認」の画面上での「型番」は「アイウ M 1 6 9 0 4 H 1 1 4 + 3 8」であり、「色」は「イエロー」であり、「メーカー名」は「x y z」であり、「製品名」は「a b c d e f g 1 6 9 0 4 H 1 1 4 . 3 0 + 3 8」であり、「J A N コード」は「自動採番」である。

【0039】J A N コードが自動採番であるとは、その商品に J A N コードがある場合には自動的にその J A N コードを付与することをいう。J A N コードがない場合でも J A N コードのかわりにその店舗で独自に付与する「インストアコード」を用いる場合がある。この場合でも「J A N コード」のコラムが「自動採番」になっていれば自動的にインストアコードが付与される。商品コー

ドもインストアコードの一種であるが、全国共通のフォーマットである点で通常のインストアコードと異なる。商品コードは J A N コードを自動採番にしておくと、商品マスタから自動生成される。

【0040】この画面上の「OK」をクリックすると、図 9 の画面の「確定中」のコラムの内容が確定する。こうして、アルミホイール登録の作業が完了する。こうして出来上がった商品マスタからストアコントローラ 1 2 はステップ S 8 1 9 にて商品コードを自動生成する。以上の説明はアルミホイールの登録の例であるが、本発明はこれに限定されず、任意の商品の登録にも適用できる。

【0041】図 1 1 は図 4 に示した「カー用品登録」というメニューを実行する場合の図 2 におけるステップ S 2 3 ~ S 2 6 の具体例を説明するフローチャートである。同図において、ステップ S 1 1 1 にて「カー用品登録」というプログラムを起動する。これは図 4 に示されたプログラムから「カー用品登録」をクリックすることにより行われる。するとステップ S 1 1 2 にて、メーカー一覧が表示される。表示されたメーカー一覧の中に登録しようとする用品のメーカーがない場合は、ステップ S 1 1 4 にて「メーカ登録」というプログラムを起動し、ステップ S 1 1 5 にてメーカコードを指定し、且つメーカ名を漢字、カナ、あるいは省略文字で入力する。メーカー一覧に該当メーカ名がある場合はステップ S 1 1 6 にてそのメーカ名を選択する。次いでステップ S 1 1 7 にてパーツ一覧が表示され、ステップ S 1 1 8 にて該当パーツ名があるかを判断する。なければステップ S 1 2 0 にて「その他」を選択し、あればステップ S 1 1 9 にて該当パーツ名を選択する。次いでステップ S 1 2 1 にてそのパーツの型番、色、ブランド等を入力する。次いでステップ S 1 2 2 で製品名等の必要項目を入力する。そして以上の入力し又は選択した内容を確定するためにステップ S 1 2 3 にて確定ボタンを押下する。これにより、カー用品の登録が完了する。

【0042】カー用品の登録により登録された商品の商品マスタからも、図 6 に示したものと同様の形式の商品コードが自動生成される。以上の方法で作成された商品マスタは、商品コードをキーにして店舗においても本部においても読み出すことができる。本部において読み出された商品マスタは、必要に応じて削除したり、その商品マスタ内のブランド名を修正したり、ブランド名を削除したり、メーカ名を削除したりすることができる。ただし、店舗においては、一旦確定した型番、色、メーカ名、ブランド名、及びサイズの修正はできないようにしておく。これらの内容を修正したい場合は、その商品マスタを削除して、新たに商品マスタを作成すればよい。

【0043】

【発明の効果】以上の説明から明らかなように、本発明によれば、バーコードや J A N コードが付与されてい

13

い商品の売れ筋や在庫管理を各店舗で行うと共に本部にて集計して全国的な規模であるいは地区別の売れ筋情報の分析が可能になる。さらに、バーコードやJANコードが付与されていない商品に関するデータをPOS端末に入力した後も、その商品の売れ筋や在庫管理を各店舗で又は本部で行うためにあらためてそのデータをストアコントローラに入力する必要はなくなり、データ入力に要する手間が簡単化する。

【図面の簡単な説明】

【図 1】本発明の実施の形態による方法を実施するための商品管理システムの構成を示すブロック図である。

【図 2】本発明の実施の形態による商品管理方法を説明するフローチャートである。

【図 3】商品管理プログラムを実行する前のディスプレイ 14 上の画面の一例を示す図である。

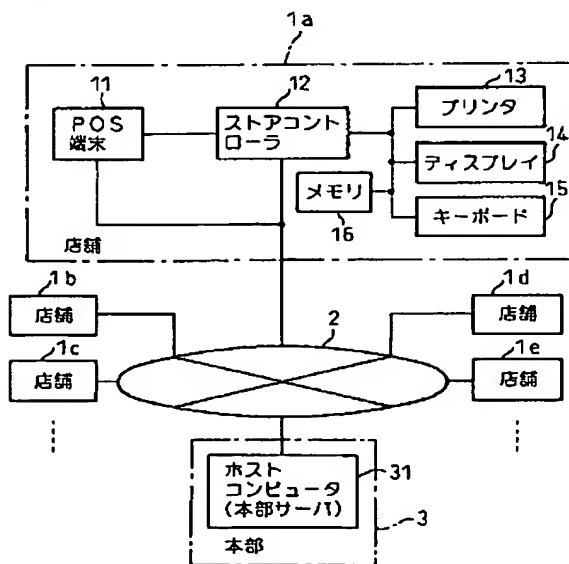
【図 4】図 3 における「商品管理」をクリックしたときにディスプレイ 14 上に現れる商品管理メニューの一例を示す図である。

【図 5】商品マスタ内の必須の要素の一例を示す表図である。

【図 6】図 5 に示した商品マスタからストアコントローラ 12 により自動生成された商品コードである。

【図 1】

図 1



【図 6】

図 6

a b c 1790 5 H114.30+25 シルバー *77

14

【図 7】アルミホイールの断面図である。

【図 8】図 4 に示した「アルミホイール登録」というメニューを実行する場合の図 2 におけるステップ S 2 3 ~ S 2 6 の具体例を説明するフローチャートである。

【図 9】アルミホイール登録を実行中にディスプレイ 14 上に表示される商品登録テーブルの例である。

【図 10】アルミホイール登録確認の画面である。

【図 11】図 4 に示した「カー用品登録」というメニューを実行する場合の図 2 におけるステップ S 2 3 ~ S 2 6 の具体例を説明するフローチャートである。

【符号の説明】

1 a ~ 1 e …店舗

2 …通信回線

3 …本部

1 1 …POS 端末

1 2 …ストアコントローラ

1 3 …プリンタ

1 4 …ディスプレイ

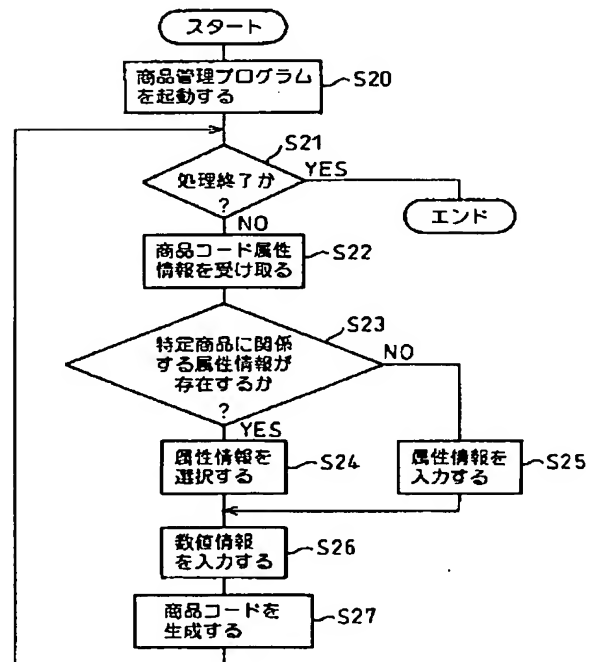
1 5 …キーボード

1 6 …メモリ

3 1 …ホストコンピュータ

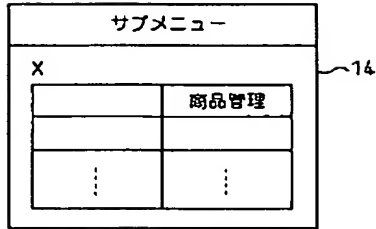
【図 2】

図 2



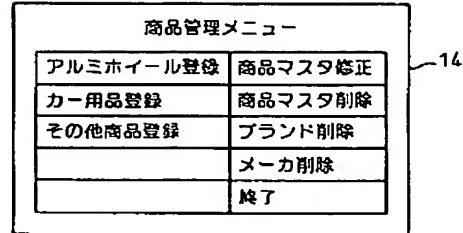
【図3】

図3



【図4】

図4



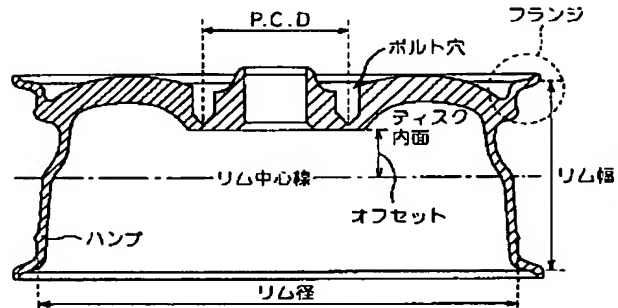
【図5】

図5

属性情報	商品区分	1000
	ブランドコード	54321
	ブランド正式名	abcdefg
	ブランド名カナ	イロハニホヘト
	型番	abc
	メーカーコード	*77
	デザイン	スポーク
	車種	PCR
	色	シルバー
数値情報	リム径	17
	リム幅	9.0
	ホール数	5
	サイズ型式	H
	P.C.D	114.3
	オフセット	25

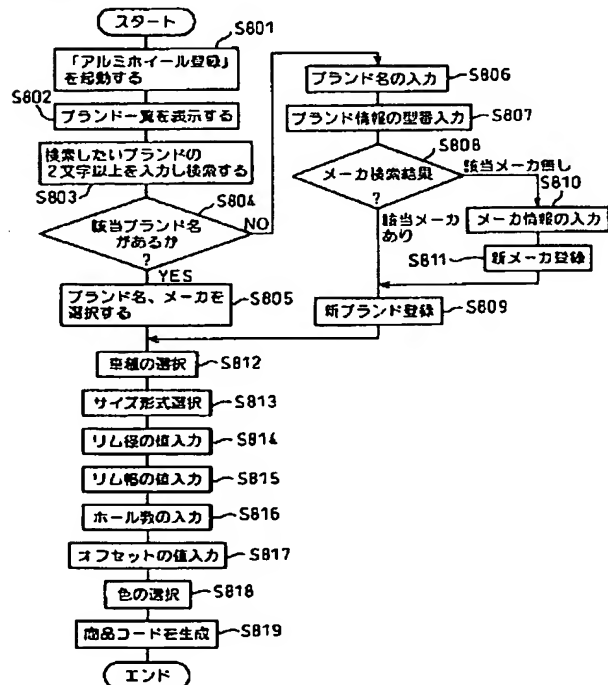
【図7】

図7



【図8】

図8



【図 9】

アルミホイール登録										商品管理	
ブランド名										19 / /	
メーカ											
品種 <input type="radio"/> 乗用車 <input type="radio"/> トラック <input type="radio"/> LD サイズ <input type="radio"/> 一般サイズ <input type="radio"/> マルチサイズ											
インチ リム幅 穴 P.C.D. オフセット 色 ディスク仕様 JANコード <input type="radio"/> 標準 <input type="radio"/> HJ <input type="radio"/> Lo											
標準小売価格 店舗発価 原価 最終仕入原価											
0 0 0 0											
商品検索										0 件	
ブランド サイズ 型番 色 メーカ名										0 件	
確定中										0 件	
ブランド サイズ 型番 色 メーカ名										0 件	
入力確定										ブランド一覧 商品検索 登録 取消 終了	
ブランド一覧 (F5) を押してください。											

図 9

【図 10】

アルミホイール登録										商品管理	
ブランド名 abcdefg										19 / /	
メーカ xyz											
品種 <input type="radio"/> 乗用車 <input type="radio"/> トラック <input type="radio"/> LD サイズ <input type="radio"/> 一般サイズ <input type="radio"/> マルチサイズ											
インチ リム幅 16 9.0 標準小売価格 1690											
アルミホイール登録確認 型番 アイフ M 1690 4H114.30 色 イエロー メーカ名 xyz 製品名 abcdefg 1690 4H114.30 JANコード 自動保管										0 件	
OK 戻る											
確定中										0 件	
ブランド サイズ 型番 色 メーカ名										0 件	
入力確定										ブランド一覧 商品検索 登録 取消 終了	
編集内容を確認して下さい。間違えなければ、登録ボタンを押して下さい。											

図 10

【図 1 1】

図 11

